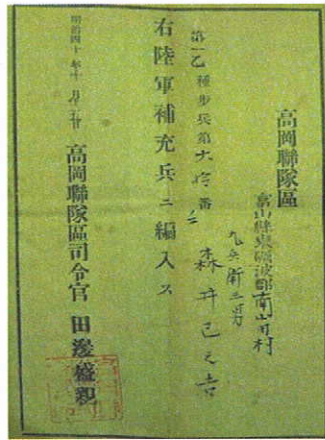




隊するが、それ以前は現役兵は抽選で選ばれるので、それ以外は補充兵として在郷軍人会名簿に登録されていた。その補充兵が持つ手帳が未教育補充兵手牒や陸軍未入營補充兵手牒である。手牒には勅諭、勅語、補充兵の心得、在郷軍人会会歌などが記されており、裏表紙の見返しには補充兵証書を入れる紙製のポケットがついている。また身上明細や履歴を記入する欄、未入營教育に参加した際にその旨を記して印をおす欄があり、正確に書き入れておかなければならなかった。この手帳は常に奉公袋に入れ、召集や点呼の際には携帯することが必要とされた。

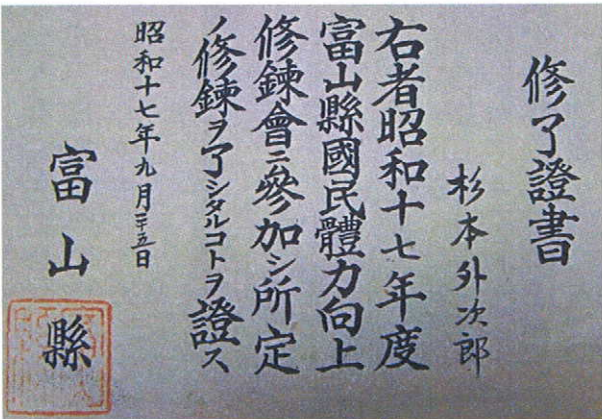


未教育補充兵手牒や陸軍未入營補充兵手牒には戦陣訓はない。この未教育補充兵手牒は森井信一の父森井己之吉のもので、補充兵証書や徴

乙種歩兵検査票も保管されていた。

### 国民体力向上修練会

昭和十五年四月厚生省は「國民體力法」で日本全国で軍隊入隊前の若者に体力検査を実施し検査結果によつて健民修練所という施設に入所させて体力の強化を図つた。目的は「政府ハ國民体力ノ向上ヲ図ル為本法ノ定ムル所ニ依リ國民ノ体力ヲ管理スル」とあり、国が國民の体力向上を図るために体力を管理をする法律であるが、國民の内未成年の十五歳からの徴兵検査までの男子限つていた。十七歳の杉本外次郎は村や学校で選ばれて体力測定を受けて、さらに村から選ばれて県主催のこの国民体力向上修練会に参加した。



### 戦地からの便り

日本が中国と戦争状態に入り中国大陸へ従軍した竹山定次郎の便りが『城端時報』にある。

北支の治安に努めん  
竹山定次郎

吾が部隊の戦闘状態は既に御承知の通り僥倖にも私も大小数回の戦闘に参加奮闘いたし、軍人として最も光栄として喜んでゐる次第で、ご出発の際皆様にお誓ひ申せし言葉にも背きこれといふ功もなく、多くの人柱となられし戦友むの英靈に衷心より敬意を表し黙禱を捧ぐるとともに生き長らへおると心苦しき感があります。小生は当地に到着以来二三回敗残兵の撲滅を期するため、十数里先の産額まで攻撃したるのみで専ら北支の治安維持に努め遠からず平和の日が訪れ、わが目的の達せらるるものと思ひます。只小生は今後一層自重して姿なき戦友の英靈や、銃後の護りの御熱誠に対し万分の一にもお報ひいたしたき決意でございます。何分御紙を通じて皆様へよろしくお伝えの程お願いいたします。

富山縣